

崖

響

～燃えろ、熱くなれ、足高健児！～

第2号 2019/7/18発行  
栃木県立足利高等学校  
進路指導部**夏季休業中・・・**

保護者のみなさまへ

進路指導主事 栗原 秀之

今年度も1学期が終了して夏季休業となり、早いクラスでは7月19日(金)より保護者面談が始まります。また、夏季前期課外(7/22～26)、夏季後期課外(8/19～22)がありますので、お子さんが体調不良などで欠席する場合には通常通り連絡をお願いいたします。ところで、夏季休業中は、特に学習面におきまして学期中よりも時間に余裕がありますので、生徒自身が計画的に学習することによって大きく力を伸ばすことのできる絶好の機会であります。また一方で、生活のリズムを壊しやすい時でもありますので、保護者の皆様にはよろしくご指導いただけますようお願いいたします。

**.....夏休みに向けて 学年主任から生徒への言葉.....****第3学年 学年主任 伊東 徹 先生**

いよいよ最後の夏です。この夏は志望校合格ラインとの差を埋める夏であり、あまりの差に怖じ気づいて諦める夏ではありません。志望校の赤本をしっかりと確認し、問題傾向が自分に有利にはたらくか、苦手分野を計画的に克服できるかを確認しましょう。これから年末まで漸次緊張が増していくでしょう。不安を払拭できるのは日々の努力だけです。運命を決定する夏だということを肝に銘じて勉強し続けることができる足高生であることを期待しています。

**第2学年 学年主任 鈴木裕之 先生**

夏休みも、可能な限り普通の学校と同じようなサイクルで生活して、1日8時間程度の学習を目指しましょう。その上で、進路について真剣に考える夏にしてください。1人暮らしをさせてもらえるのか、どこまで遠くに行っていくのか、国公立・私立はどうなのか。あなたが日頃から頑張っている姿を見せていれば、保護者の方は必ず真剣に答えてくれます。そういうことも含めて受験です。もちろん、オープンキャンパスにも積極的に行ってください。ポートフォリオの入力も忘れずに。

**第1学年 学年主任 戸倉川大介 先生**

夏休みは学期中と違い、自分で使える時間が大幅に増えます。夏休みをどう過ごすかによって2学期以降の成績が大きく左右します。最も大切なのは規則的な学習習慣・生活習慣を保つことです。毎日1時間ずつ夜更かしをすると、一週間で完全な夜型の完成です。早寝早起きを心がけましょう。そして学校の課題をきちんとこなしましょう。まとめてやるのではなく、きちんと計画を立てて学力が定着することが大切です。(課題は提出することが目的ではありません。)

.....

今号から各学年ごとの進路(学習)指導についてお話ししていこうと思います。

**1年生の進路指導について**

1年生で一番大切なことは日々の学習習慣を身につけることです。4月11・12日と那須の学習合宿で自主学習の方法や、長時間学習することを体験してきました。また、入学直前に実施したスタディーサポートを用いて学力だけでなく、学習習慣や生活習慣などについても4月から担任の先生が面談を行ってきました。スタディーサポートは9月と来年3月にも行い、入学後の学力の状態、学習習慣や生活の変化を見ながら、担任の先生が面談を通してアドバイスをしていきます。また、夏休みには「東北大」や「新潟大」のオープンキャンパスに参加し、大学の雰囲気を知るとともに、学習意欲を高めます。

1年生では自分の将来を見据えながら、文理のコース選択も行います。進路探究ワークを行いながら、自分の興味関心と関連する学問を探し、適性検査の結果も参考にしながら、2学期の間に決定していきます。また、進路探究の一助として、10月には足利ロータリークラブさんの協力で様々な職業の方に来ていただき講演いただきます。昨年度は、弁護士、会計士、歯科医、学者、...の方々に来ていただきました。また例年本校で2年生対象に行われる大学出前授業(大学から教員10名程度招き、自分の研究内容について講義していただき、学問の奥深さを知るとともに、自身の進むべき方向を真剣に考える一助とする。)にも今年度から参加する予定です。また、情報の授業の一環として大学調べも行う予定です。